



# 大正時代のインフルエンサー!? 『白樺』派!

『白樺』は実篤たちが作った雑誌です。

1910(明治43)年から1923(大正12)年までの13年間で160冊も発行しました。

## なんで大正時代をリードした雑誌なの?

### 『文学とはこうあるべきだ!』を打ち破る!

世の中の暗い部分ばかりを書くそれまでの文壇に反発して、自分たちの書きたいことを自由に書き、また、メンバーの個性を尊重しました。

実篤(26歳)



明治45年頃の『白樺』メンバー  
同じ学校の仲間たちで雑誌を出しました。

### 当時の日本ではなかなか見られなかった美術作品を紹介!

西洋美術を中心にたくさんの芸術家を紹介して、美術を見る楽しさを多くの人に広めました。

『白樺』が紹介した芸術家  
セザンヌ・ゴッホ・ルノワール・ムンク  
などなど…ロダンの特集号も……



セザンヌ「帽子をかぶった自画像」と実篤(大正10年頃)  
作品は現在、アーティゾン美術館所蔵



『白樺』の仲間と一緒に美術館を建てたくて、本物の作品を買いました。

### 『白樺』の新しさに当時の若者たちは熱狂!

画家の岸田劉生や作家の芥川龍之介は若いときに『白樺』の影響を受けました。

岸田は実篤の本の表紙も手がけました。



麗子像で有名!

美術の教科書にのっているがも!

▼『白樺』を読んだ学生時代の芥川の感想は…?  
「武者小路氏が文壇の天窓を開け放つて、爽やかな空気を入れた事を愉快に感じているものだった。」  
(芥川龍之介「あの頃の自分のこと」『中央公論』大正8年1月号発表)

### 『白樺』派が活躍した大正時代の東京

古くからの日本の文化と新しい西洋の文化が入り混じり、生活や考え方がどんどん変わっていきました。

古き良き街並み!



浅草



日本橋



神田

とっても近代的!